



ほとんど知られていない衝撃の事実！ 背中ニキビの原因菌はカビ!? 真相を医師が解説！

▼「背中ニキビを治す方法」に関する動画はこちらから⇒【<https://www.youtube.com/watch?v=0iilXepl44Y>】

衝撃の事実を知らない女性が約8割も。

メディカルコスメ®のパイオニア、株式会社ドクターシーラボ(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長:石原智美)は、夏になると特に増えてしまう背中ニキビについて、美容皮膚科 シロノクリニック横浜院院長 佐藤 美先生に取材しました。ドクターによると、体にできるニキビと顔にできるニキビの原因菌は異なり、**背中ニキビの原因菌はなんと、カビ**でした。それぞれの菌に働きかけるケアをしなければ治らないとのこと。皆さんご存知でしたか？

ドクターシーラボの調査では、約8割の女性は原因菌が異なることを知らず、また背中など、体にニキビが出来ても、ケアの方法が分からず何もしていないという人が約半数も。そこでしつこい背中ニキビの真相と、効果的なケア方法を解説していただきました。



シロノクリニック横浜院
院長

佐藤 美先生

技術の高さや経験はもろるん、美しさのセンスも備えた精鋭のドクター。「自分も受けたい、家族にも勧めたい」と思える治療をモットーにしている。

原因菌が異なる背中ニキビと顔ニキビ。専用のケアが必要です！

Q1 背中にできるニキビの原因は何ですか？

背中ニキビの原因菌は、「マラセチア菌」という真菌、いわゆるカビです。

佐藤先生「主に顔のニキビはアクネ菌、背中などの体にできるニキビは「マラセチア菌」が関与しています。そのため背中ニキビと顔ニキビは原因菌が異なります。アクネ菌が顔に多く生息している細菌であるのに対し、「マラセチア菌」は体に多く存在し、脂を好む真菌、いわゆるカビです。マラセチア菌が毛根を保護し毛の伸長通路となっている毛包内で炎症を引き起こすことにより、背中ニキビ(マラセチア毛包炎)が発生します。毛包炎は基本的に自然治癒することがありません。だからこそ、それぞれ専用のケアをすることが必要です。また皮脂を好む真菌であるため、皮脂分泌が増える春から夏にかけて悪化します。特に背中では汗をかきやすい場所。暑さやストレスを感じたときに出る汗はべたついて蒸発しにくい上、皮脂を多く含むことから、放っておくと毛穴が詰まり、背中ニキビの原因に。そのため、この時季は特に背中ニキビがしやすいのです。」

マラセチア菌症状例(背中ニキビ)

痛み・痒みがほとんどない
小さく均一な赤いブツブツ



アクネ菌症状例(顔ニキビ)

赤く腫れたり、白〜黄色の膿
大きさが色が不均一



赤ニキビ 白ニキビ 黄ニキビ

Q2 背中ニキビ専用のケア方法を教えてください。

マラセチア菌を殺菌。抗真菌作用の薬用有効成分が効果的です。

佐藤先生「背中ニキビの原因菌、マラセチア菌に働きかけ、殺菌・抗菌作用を発揮する「イソプロピルメチルフェノール」が配合されている専用のものを使ってケアすることをおすすめします。同時に、アクネ菌も炎症を悪化させる原因になり得るため、アクネ菌を殺菌する「サリチル酸」と、炎症を鎮静させる「グリチルリチン酸2K」が配合されている専用ケア商品が好ましいです。マラセチア菌は脂を好む真菌のため、**オイル成分が配合されていないものが良いでしょう**。専用のケア商品を使用しつつ、シャンプーやリンスのすすぎ残しがないように洗い、また角質ケアをしっかりと行い、毛穴を詰まらせないことも大切です。」

自宅でできる背中ニキビの予防法【4つの対策】

- 1 マラセチア菌 殺菌成分配合の ボディケアアイテムを使う
- 2 オイル成分カットの 専用アイテムを選ぶ
- 3 洗髪料は しっかりすすぐ
- 4 角質ケアで 毛穴を詰まらせない

梅雨も明けて、夏解禁！今年の夏は、見られても恥ずかしくない、すべすべの背中を目指しましょう

▼ 自宅で専用のケアができるアイテムはこちら⇒【<https://www.ci-labo.com/shopping/product/00055073/>】

＝本件に関するお問合わせ先＝

株式会社ドクターシーラボ 宣伝部 広報グループ : 吉田 / 伊尾知(いおち) / 内藤 / 平井 / 小田島 / 高江洲(たかえす)
TEL: 03-6419-2508(直通) FAX: 03-6419-2550 MAIL: koho@ci-labo.co.jp

メディカルコスメ®は株式会社ドクターシーラボの登録商標です。

